

宮内定額金
第七号



114
A-44
7



シヤツルグードト名ケタル國君ノ私有物

在國領ト云フモノ、相當ニ定リタルニ於テ始メテ明白ニ分判セルトヲ得タ

リトス○當今ニ至テハ諸國大概相續法并稅法ニ関セル事件ハ之ヲ民法ニ屬セシメタリ(普魯亞ノ「ランド、レク」ト第二章第十四十五條并澳斯利亞ノ民法書第二十章)○澳斯利亞ノ法律ニ言ヘルアリ曰ク「凡ソ國家ノ長ニ関シ又ハ其私有物若シクハ收入ノ凡ソ民法ニ基キタル事柄ニ関セル所ノ訴訟ハ民法ニ照準シテ裁判官ニ於テ之ヲ裁決スヘキモノトス」ト又「ツアイレル」氏右ノ法律註解附録第百二十三章第一條ニ曰ク「國君ガ其私有物ニ就テ執行ヲ所ノ訴訟上ノ事務ニ於テハ平民ト同様ニシテ其取扱ニ於テ國君ト平民トノ區別アルヲ無シ是レニ因テ臣下タルモノモ之ノ事務ハ民法ニ依照シテ決定セラルベキヲ信用セリ而シテ此事タルヤ實ニ之ヲ法律ニ特書スルヲ以テ充分理アリトス」ト

澳斯利亞國帝ノ著大ナル「シヤツルグード」ヲ所有スルハ判然明瞭ナ

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄

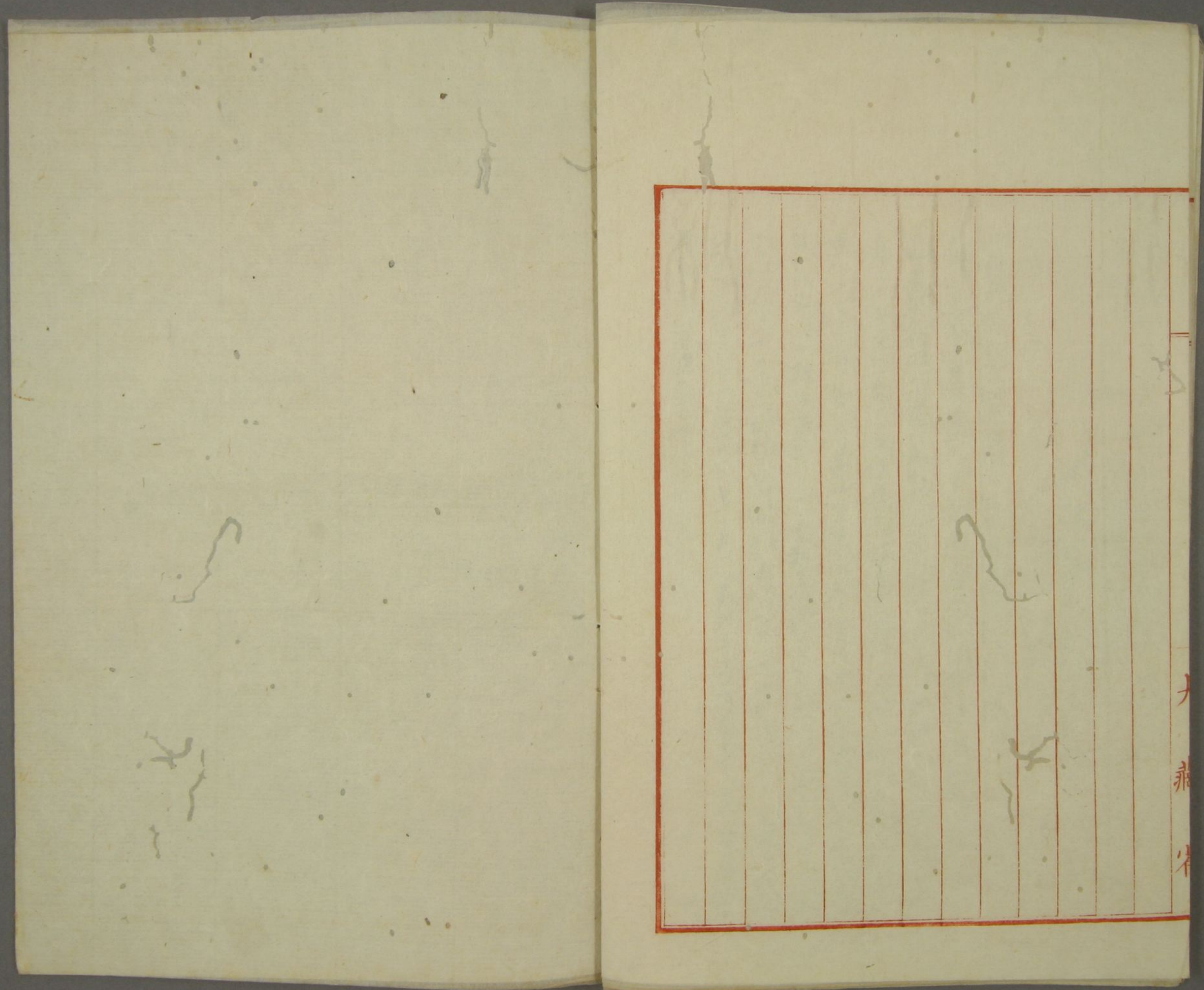
ルベキナリ

余輩ハ今爰ニ普魯^五西ノ法律ヲ講究セシ其法律中國家ノ歲入并「フ
シカル、ライト」國領ノ權理ト云フ義原注ニ曰ク茲ニ説ク所ノ「フシカル」ハ前
文羅馬法律ニ記ス所ノ「エイラリ」ニト一般國家ニ屬スル所ノ部分
ヲ指シテ「論スル所」第十三章ニ言ヘル「た」ノ如シ

凡ソ國君ノ家族タル人其財富又ハ其他法則通りナル方法ニ依テ得タル所
ノ部分ハ(此所有主若シクハ其相続人ニ於テ別段之ヲ國領同様組入ル、カ
又ハ一家ノ契約若シクハ家法ニ依テ定メタル「アル」非「外」之ヲ^其私有
物ト思考スベシト而シテ之レニ第十四十五條ヲ追加セラレタリ○右ノ規則
ハ國君ノ所親カラ節儉シテ得タル所又ハ其他平民ノ享有スル所ト同様普
通ノ享有方ニ依テ得タル所ノ物品并財產ニ付テモ之ヲ適用スルナリ○然リ
ト雖氏若シ右ノ如キ享有主タル所ノ國君右ノ方法ニ依テ得タル所ノ不動產
ヲ其存命中ニ他へ讓與セザルカ又ハ死後遺產相續ノ定メ無キハ此財
產ハ國家ノ領地中へ合併シタルモノト思考スベキナリ○普魯^五西ノ憲法ニ

於テハ右ノ原則ヲ默許シタリトス

又所有物ニ付テノ一制アリ是レ甚タ著明ナルガ故ニ宜シク爰ニ記載スベキ
ナリ「フシデ、コムミス」日耳曼ノ部第
六項ニ詳カナリ即チ一家ノ「フシデ、コムミス」是レナリ○
右ハ所有物ヲ讓與賣却スルノ權理ヲ限制スル所ノ條例ニシテ其重立タル旨
趣ハ之ヲ賣却シ若シクハ書入質等ヲ為スベカラザル所ノ性質アルモノトシ因
テ以テ一家ヲ保護シ并相續人ノ存在スル間ハ其家各保全ノ為メニ一家ヲ
シテ其所有物ヲ永世ニ保持セシムルニ在リ○右ノ特別ナル所有物ノ制無
カリシ王家ハ甚タ稀レナリ貴族モ亦此制ヲ施行シ此策ニ因テ往昔ヨ
リ今日ニ至ル迄其高貴ナルト并其家名トヲ保存スルヲ得タルナリ



大雅堂

